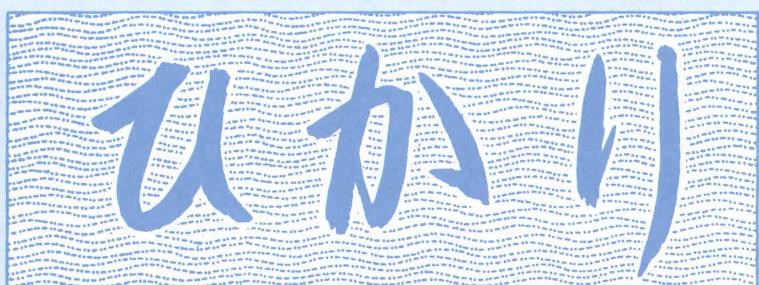


重荷せおうて
山坂すれど
ご恩おもえば
苦にならず
妙好人
六連島のお軽



No. 93

2014年(平成26年)

7月1日

発行
浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組
責任者
片桐淨映



日高組仏教婦人会連盟物故者追悼法要

煩惱濁とは、貪り、怒り、愚かさなど煩惱が燃えさかり、悪徳がはびこり、人間がそのためにますますあさましくなることです。衆生濁とは、衆生の資質が低下することで、人間が悪くなり、人間性が墮落することによって社会全体が乱れることです。

命濁とは衆生の寿命が短くなることで、煩惱や邪見のためにいのちを害い、若死にすることです。インスタント食品を食べ続けたり、不規則な生活を続けたりしていると、栄養のバランスが崩れて、長生きできないかもしれません。「五濁増のしるしにはこの世の道俗ことごとく外儀は仏教のすがたにて内心外道を帰敬せり」と親鸞聖人は嘆かれました。この世は亂れ僧侶も門徒も外見は仏教のかたちをしているが、中身は仏教にそむいているというご指摘であります。浄土真宗でありながら、迷信にふりまわされている人を、指をくわえてみては私自身がはじいることがあります。

いじめによる小・中学生の自殺、老人の孤独死、凶悪な強盗殺人事件、交通事故、火災なども後を絶ちません。何か混沌とした世相ですが、このような現象は、今に始まったことではなく、形こそ変わった時代にもあったことでしょうが、「いのちと人権」を無視した予想もしないいろいろな事件が多すぎます。

(永原智行)

阿
弥
陀
經
に
聞
く

それぞれの思い

二人の娘さんを残しお淨土に生まれたお母さんがいました。彼女は四十年で、末期の癌を患わっていました。彼女が病院に入院する一年前の夏には、ご家族で私達家族に会いに来て下さいました。久しぶりの元気な笑顔と声に、その方が癌であるなど思いもしませんでした。入院中は他の方々に心配や迷惑をかけまいとご家族で看病をされていました。当時小学校四年生と二年生の二人の娘さんも自分なりに一生懸命お母さんの看病をされていました。

彼女自身も苦しくて辛くて毎日が不安との戦いであつたに違いありません。それよりも二人の娘さんを残してこの世を去ることが何より苦しいことだったのではないかと思います。その後、彼女はこの世で子供の成長を見届けられないと命を終えました。彼女の葬儀は、近所の同じ宗派のお寺さんで行われ、私も同

席しお勤めをさせて頂きました。お通夜から還骨までの式の間、娘さん達はきちんと座っていました。そらく中でした。亡くなつた彼女のお母さんが私に話しかけてくれました。「この子は子供達を残して死ねない思いが強かつたようです。最後の最後まで生きようともがいて必死に頑張つていました」と言葉をつまらされました。お母さんも孫を残して娘の死を思うとどんなに不便で代つてやりたかったでしょう。子供さんの事ばかり気にして、おばあさんの悲しさに思い至つていなかつたのでした。慰めの言葉もなく、ただ頷くことしか出来ませんでした。

「今生に、いかにいとほし不便とおもふとも、存知のごとくたすけがたければ、この慈悲始終なし。しかれば、念佛申すのみぞ、すゑとほりたる大慈悲心にて候ふべきと云々」。意味は、この世に生まれてどんなに

氣の毒だ、かわいそうだと思つても思い通りに助けることはできないから、わが力によって、この世で人々を救おうと願う慈悲（苦を抜き楽を与える）は中途半端なものでしかありません。だからこそ阿弥陀さまの本願を信じ念佛申すことだけが最後まで徹底しうる眞実の慈悲のこころだというべきでしよう。親鸞聖人は仰せられました。人間の慈悲には限界があります。自らの心をも閉ざしてしまったことがあります。

(荻野益次)

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223
日高郡日高町小浦195
円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日
平成26年9月20日(必着)

※発表は次号



次の作法で正しいのはどれでしょう？

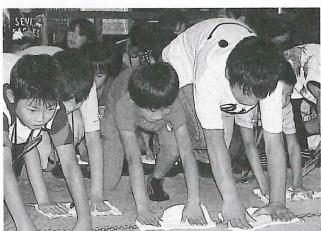
1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

- お経の本は、畳に直接置かない。
- お茶、お水は毎日供える。
- お供物のお下がりは、食べずに捨てる。

92号の正解は、「親鸞聖人」でした。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由 良 町 中 美幸様	由 良 町 中崎工ミコ様
由 良 町 小林 直子様	由 良 町 濱崎五十鈴様
由 良 町 岩崎 信子様	由 良 町 新田美佐子様
由 良 町 畑中 靖子様	由 良 町 久保千代子様
御 坊 市 塩田 廣一様	由 良 町 濱上 弘様



念佛奉仕団ふき掃除

少年連盟のスローガンを考える機会を頂いたのは定年退職した年、教務所長より、ご本山で開催される、キッズサンガのアドバイザー研修を受講してはと誘われ、受講したのがご縁であります。キッズサンガの理念とねがいは「ご縁のある大人たちが、すべての子どもと接点を持ち、子どもとともに、阿弥陀さまのご縁に遇つていこうとする運動」であります。教区少年連盟に於いても、夏の児童念佛奉仕団・冬のキッズサンガ子ども報恩講を開催しています。例年奉仕団参加者はバス2台90名前後でしたが、昨年は133名の申込みに嬉しい悲鳴をあげま

『子どもの声が 聞こえるお寺に』

した。また、キッズサンガ子どもも報恩講には連盟関係者だけでなく、仏教婦人会・門徒推進委員会・壮年会・総代会等の協力を得て、参加者263名（児童178名・スタッフ85名）が鷺森別院本堂にて一堂に会し阿弥陀さまのご縁に遇うことになりました。

少子高齢化が進む日高組においては各寺院に於いてキッズサンガを開催することは困難であります。しかしながら、日高組で開催されるサマーキャンプや教区の行事に子どもたちに参加して頂くことがお念佛相続『念佛の声を子や孫に』を実践していくことではないでしょうか。ご本山では「子ども・若者ご縁づくり推進室」が新たに設置され次代をになう人々の育成に重点がおかれました。

卷之三



子ども報恩講 献灯の1コマ

した。また、キッズサンガ子どもも報恩講には連盟関係者だけでなく、仏教婦人会・門徒推進委員会・壮年会・総代会等の協力を得て、参加者263名（児童178名・スタッフ85名）が鷺森別院本堂にて一堂に会し阿弥陀さまのご縁に遇うことが出来ました。

お葬式の場面で、遺族の挨拶、また弔辞を述べることがありますが、残念ながら浄土真宗の教えにふさわしくない言葉が使われています。

例え、「ご靈前」「み靈」という表現を聞きますが、「肉体が滅んでも靈が残る」といった考えは浄土真宗のみ教えにはありません。

また、「草場の陰」「天国・昇天」「冥福を祈る」の言葉も耳にしますが、ふさわしい言葉ではありません。

お念佛申す身となられた門信徒は阿弥陀如来のお救いによってお淨土に生まれ仏さまにならせていただく

死者の「靈」を清めないと自分に「祟り」が有るとすれば、あなたもいつか家族や親族、ご縁の方々に「祟り」を与える身となるかも知れませんよ。

お知り合いの方のお通夜葬儀に参列されることもあるかと思いますが、お通夜ではお勤めの後にご住職から故人を偲んでのご法話があるかと思います。

一般の焼香のご案内が始まると、順次にご焼香し、早々に式場を後にされる参列者が居ますが、何の思いで参列されたのでしょうか。

葬儀は故人とこの世の最後のお別れです。

ご縁があつて参列されたことでしようから、遺族への顔見に終わらず、式が終わるまで臨席し、故人を偲びつつ、無常の命に思いをはせ、ご法話を持聞する仏縁とさせていただきましょう。

研修テーマを読ませていただき
今は寺離れの傾向があるので私は思つております。総代さんも昔のように自分達でお寺を守らなければとわかってくれている人が少ないよう思います。十二年間総代をさせていただき勉強できて幸せでした。それぞれのお寺で皆様をお寺に近づける取り組みをやつていかなければ?

※「ひかり」の今月に書かれている「いのちの日」他、読ませて頂きました。祥月命日は勉強になりました。祥月命日はどういう字を書くのかも知りませんでしと、「中陰が三ヶ月にまたがると?」ということも気になつっていましたので何となくわからりました。

※クイズに出して「はじめての親鸞さま」をいただき難うございました。小学六年生と中学二年生の孫に読んでほしいと思って、春休みに由良へ帰ってきてくれると楽しみにしています。

※「はじめての親鸞さま」をいただき難うございました。読ませて頂きました。やさしい気持ちになれそうな気がします。当たり前ではない命を大切に生きたいと思ひます。有り難うございました

※「ひかり」は理解しやすい言葉で書かれているので納得できてくれています。これからも色々な事を知りたいです。

※応募できる、させて頂く今のお陰様を感じます。

※「ひかり」を楽しみに読ませてもらっています。特に「門徒心得」の欄を勉強させてもらっています。

門徒心得

「葬儀の場面から」

読者の声

「即得往生」この世の命がそぞくとくおうじょう 尽きる時、お淨土に往き生まれさせていただけるので。

(鈴木悟峰)

一般の焼香のご案内が始まるとき、順次にご焼香し、早々に式場を後にされる参列者が居りますが、何の思いで参列されたのでしょうか。

葬儀は故人ととのこの世の最後のお別れです。

ご縁があつて参列されたことでしょうから、遺族への顔見に終わらず、式が終わるまで臨席し、故人を偲びつつ、無常の命に思いをはせ、ご法話を聴聞する人達とさせていただきましょ

お知り合いの方のお通夜
葬儀に参列されることもある
るかと思いますが、お通夜
ではお勤めの後にご住職か
ら故人を偲んでのご法話が
あるかと思います。

一般の焼香のご案内が始
まるとき、順次にご焼香し、
早々に式場を後にされる参
列者が居りますが、何の
思いで参列されたのでしょ
うか。

なつていましたので何となくわかれました。

※ みをやつていかなければ?
「ひかり」の今月に書かれている
「いのちの日」他、読ませて頂き
勉強になりました。祥月命日とは
わかつっていましたが、「祥」をど
ういう字を書くのかも知りませ
んでしたし、「中陰が三ヶ月にま
たがると?」ということも気に

※ 92号のひかりで日高組総代会の研修テーマを読ませていただき、今は寺離れの傾向があるので私は思つております。総代さんも昔のように自分達でお寺を守らなければとわかってくれている人が少ないよう思います。十二年間総代をさせていただき勉強できて幸せでした。それぞれのお寺で皆様をお寺に近づける取り組



専福寺

日高組寺院めぐり

専福寺（由良町江ノ駒）

第十二代住職

菅原 吉人

当寺は、寛永元年（一六〇三）十一月、僧明道（導）が本願寺より木仏本尊阿弥陀如来を下附されたのが真宗寺院としての始まりであるといわれる。詳しい資料は残っていないが、昭和五十九年三月本堂新築の際、旧本堂から安永六年（一七二四）十一月、僧明道（導）

（七八）に二代住職善応により本堂再建が行われ、寛政十一年（一八〇〇）の三代住職順淨の時に完成すると、いう歴史を記された板が発見された。

墓地には、応永十三年（一四〇六）建立の宝きよ印塔や五輪塔、板碑が残存しているところから、当初は真言宗あるいは禅宗であつたであろうと思われる。

平成二十五年度の組会に先立ち、日高組門徒総代・責任役員三名の物故者追悼法要が営まれ、遺族や組会議員三十五名が参拝し法要後は由良町里蓮寺の岩崎法明住職より法話をいただきました。

平成二十五年度の組会では事業報告並びに会計決算報告、監査報告がなされ、質疑応答の中では、僧侶研修会で「浄土真宗の葬儀のあり方」について研修報告がなされたが、もっと門信徒に対して「葬儀のあり方」を指導してほしいという意見や、仏教社年会の活動実態に対して「寺院単位」での活動を積極的に住職がリーダーシップを取って獎めてほしいといった意見が

日高組通信

☆行事報告

・平成二十五年度日高組住職・寺族・門徒総代・責

任役員物故者追悼法要並びに日高組組会が開催さ

れる。

三月二十九日（土）日高町志賀妙願寺において、標記追悼法要並びに組会が開催されました。

平成二十七年三月三十一日までとなっています。

・日高組総代会総会・研修会

四月五日（土）由良町大引淨明寺に於いて、平成二十五年度事業報告・会計報告、一「十六年度事業計画・予算について審議しました。

続いて任期満了に伴う役員の改選が行われ、会長に

は、宝國寺門徒田端美津雄氏が選出されました。

最後に、善宗寺住職より「葬儀について」と題して講話がなされ、常々疑問に思っている事柄について、明快にお話をいただきまし

☆行事予定

・日高組こどものつどい
「キッズサンガ」

日高組こどものつどい「キッズサンガ」を八月二十三日（土）に開催致します。詳細が決まり次第、寺院を通じてご案内いたし

ます。
日高組ホームページ
QRコード



出され、執行部だけでなく、組内全体で協議してゆくことを確認しました。

・日高組仏教婦人会連盟物故者追悼法要・平成二十六年度日高組仏教婦人会連盟総会

四月二十九日（祝・火）午後一時から由良町里蓮寺にて、標記追悼法要・総会を行いました。二十五年度の物故者は三十三名。

法話のご講師は、志賀善宗寺 住職 鈴木悟峰師でした。

その後、平成二十五年度事業報告・会計報告、次年度の事業（案）・予算（案）が審議されました。

